

平成29年度

交通不便地域の 住民サービスを考える

少子高齢化や若者の流出等により、人口減少が進み、高齢者が大半を占める地域が全国各地に広がっています。このような地域では、通学・通院・買い物等、日々の生活に支障を来す住民が多く、公共交通等による住民の足の確保や、住民サービスをどのように提供していくかが喫緊の課題となっています。

この研修では、交通不便地域の住民の命と暮らしを守るためにどのような取組を進めていくべきか、先進事例等から考えます。

研修の ポイント

- 交通不便地域を取り巻く現状及び課題について理解します。
- 地域での様々な取組等について、講義や事例紹介を通して学びます。
- 受講者間で地域の現状を共有しながら、グループ討議等を通して、今後の取組について考えます。

開催要領

日程 平成29年12月6日(水)～12月8日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 企画・まちづくり・公共交通・福祉等、交通不便地域の住民サービスに係る業務に携わる市区町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会議務局を通じてお申し込みください。

募集人数 30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成29年10月24日(火)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会議務局を通じてお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp 【ホームページ】 <http://www.jiam.jp>

平成29年

12月

6日(水)

- 11:00～ **入寮受付・昼食**
- 12:30～ **開講・オリエンテーション**
- 13:00～14:30 **講義 条件不利地域の生活や暮らしを守るための支援について**
 総務省自治行政局過疎対策室長
 条件不利地域における暮らしを持続可能なものとするため、それぞれの地域(集落)の存在を前提としつつ、より広い範囲で活性化を図る「集落ネットワーク圏」の形成、及び地域運営組織が持続可能な活動を継続できるよう地域運営組織の運営に対する支援等を通じた、コミュニティ交通への支援等の取組をご紹介します。
- 14:45～17:20 **講義・意見交換 交通不便地域のおでかけ環境を改善する方法**
 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏
 通院・通学・買い物等に困難を抱える人が多い交通不便地域の現状等についてお話しいただき、住民のおでかけ環境を確保し、サービスを維持していくために、自治体はどのような取組を進めていくべきかを考えます。
- 17:50～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成29年

12月

7日(木)

- 9:25～14:10 **事例紹介** ※各70分を予定しております。(途中休憩あり)
 コーディネーター:公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員 福本 雅之氏
- ①**山口市のコミュニティ交通の取組**
 山口県山口市都市政策部交通政策課 交通政策担当副参事 岩本 誠治氏
 山口市では、行政と住民が地域の交通についての協議を重ねた結果、地区の中心地や駅・バス停までを結ぶ「コミュニティタクシー」や「グループタクシー」の制度を導入されています。導入までの経緯や、導入後の地域の状況、今後の展開などについてお話しいただきます。
- ②**3町村共同で取り組む総合交通システム～おでかけ北設～**
 愛知県北設楽郡公共交通活性化協議会事務局
 設楽町企画ダム対策課 主任主査 高橋 三郎氏
 北設楽郡内の3町村では、一つの生活圏として機能する交通システムを目指して、町営・村営バスの運行を一体化し、「おでかけ北設」として、共同で運行されています。それらの取組についてお話しいただきます。
- ③**買い物難民の救済策～移動スーパー「とくし丸」～**
 株式会社Tサポート 代表取締役 村上 稔氏
 徳島で生まれた移動スーパー「とくし丸」は、全国各地のスーパーと提携し、ネットワークを広げておられます。事業を展開する中でみえてきた、交通不便地域の住民の現状や課題などについてお話しいただきます。
- 14:25～17:00 **演習 交通不便地域の住民サービスを考える(グループ討議)**
 公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員 福本 雅之氏
 2日間の講義・事例紹介を踏まえて、自治体ができる交通不便地域の住民サービスについて、グループに分かれて討議を行います。
- 17:00～ **課外学習 グループ討議**

平成29年

12月

8日(金)

- 9:25～10:35 **演習 交通不便地域の住民サービスを考える(グループ討議)**
 公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員 福本 雅之氏
 前日のグループ討議のとりまとめを行い、発表の準備を行います。
- 10:50～14:10 **演習 交通不便地域の住民サービスを考える(発表・講評・まとめ)**
 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和氏
 公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員 福本 雅之氏
 グループで討議した内容について発表を行った後、講師から講評をいただき、3日間のまとめを行います。
- 14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。